

し、特に高齢者等に対応した医療サービスの向上に意を注ぎ、医師等職員の確保対策も含め、病院の健全経営に努めます。特に平成22年度においては、多機能にわたる症状の診断が可能となるCTを整備し、課題であった人間ドックをスタートする予定で、医療環境の整備を図りながら医師の確保を目指します。

産業

農業の振興

農業支援センターが中心となり、認定農業者、新規就農者など、地域農業の担い手の育成・確保を図るとともに、担い手の不足をカバーする集落営農組織の育成に努めます。

なお、水田農業については、国が4月からスタートさせる自給率の向上を図る戸別所得補償モデル対策を推進し、転作作物の生産拡大と米に対する赤字補てんにより水田農業の経営安定に努めます。また、地産地消の推進として、「森の三角ぼうし」・「日吉産地」を中心に生産農家との連携を図り、多品目の農産物を生産出荷する農家・生産者グループの育成および消費者に

より新鮮な野菜を供給するための施設の整備に努め、鬼北町らしい地域の特徴ある農産物と、これを活用した特産品開発にも引き続き取り組み、市場競争力の高い農産物の生産振興を図り農業の足を強くします。合わせて、増大している野生動物による農産物被害を防ぐため、引き続き猟友会に駆除活動を要請するとともに、防護柵設置などのハード事業に対する助成も行い、意欲を持って農業ができる基盤づくりに努めます。

優良農地の保全管理と地域農業の振興

(社)鬼北町農業公社と鬼北農業支援センターの関係強化を図りながら、地域農業管理システムの強化充実に努めるとともに新規就農者の育成事業を推進します。

また、鬼北熟成雉について、販路拡大が最優先であることから、積極的な顧客開拓に努めるとともに、新商品開発や生産者部会との連携強化にも力を注ぎ、「付加価値の高い「鬼北ブランド」として、広く認知されるよう推進に努めます。

林業の振興

適切な森林の保育管理が行われていないヒノキ、スギの人工林を、鬼北町森林整備計画に基づき森林施業を実施するとともに、森林の現況把握や施業区域の確認など、地域活動への支援を行う森林整備地域活動交付金制度を活用し、より広範囲な施業計画に基づき、計画的かつ一体的な間伐等を実施します。

また、森林の生産基盤である林道・作業道の整備を図るとともに、高性能機械の導入による団地化施業を推進し、林業生産コストの低減に努めます。さらに、森林体験の森や里山の維持管理に努めるとともに、森林ボランティア団体の育成、一般公募によるシイタケなどの林産物栽培教室や木工工作教室などを開催します。

商工業の振興

元気のある商店や企業を育てるため、国・県の補助制度や融資制度、活性化や研究・開発の先進事例などの情報提供に努めるとともに、商工業活動を支援し、町の活力回復に努めます。地域の賑わいやイメー

ジアップを図るためのソフト事業を導入するとともに、空き店舗等を活用した活性化事業や施設整備に対する支援を行います。

また、事業継承者の育成や地域資源を活かした特産品開発への支援等を行うとともに、商工業の活性化対策として、国際規格「ISO」認証取得を進めても積極的な支援を進めて行きたいと考えています。

また、企業誘致については、誘致活動の促進に努めるとともに、町の特性を活かす農・工・商が活性化し企業誘致に引き続き取り組みます。

雇用対策については、求人情報の提供や雇用相談の機会を提供するとともに、既存企業の訪問や再就職支援対策等にも力を注ぎ、就業の場の確保と雇用の安定に努めます。

観光の振興

成川渓谷、節安渓谷、安森渓谷などを中心とした観光資源の活用を図り、山岳レクリエーションと農業体験ツアーを活かしたグリーンツーリズムの振興に努めるとともに、町の特色と資源を活用した多極間交流の拠点づくりを目指します。なお、成川渓谷休養セ

自然環境

エネルギーの活用

多くの町民が集い、憩い・ふれあう場としての、各種イベントを支援するとともに、各種団体と連携し地域の振興を図ります。

公共機関、中小企業、学校などに対して、環境への取り組みの結果報告の方法として、環境省が策定した「エコアクション21ガイドライン」に基づく「エコアクション21」の認証取得に向けた調査検討をします。また、アルニコル跡地に建設中の「ニールタワー」鬼北の里」における住宅用太陽光発電システムの設定補助事業を継続するとともに、環境に優しい八